

第 379 回液体クロマトグラフィー研究懇談会

主催 (公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー (LC) 研究懇談会

後援 (公社)日本薬学会, (公社)日本化学会, (公社)日本農芸化学会, (公社)日本分析化学会

医薬品の新規モダリティ開発は加速しており, 核酸医薬の開発速度は論を待たず日進月歩である。一方で核酸医薬の不純物は一般的な低分子と異なり, 理論的には欠損体や置換体など膨大な数が予想され, 全てを分離分析及び定量評価を行う事は困難を極める。低分子医薬品と異なりガイドラインも明文化されていないが, 分析研究者として最大限の分離特異性及び定量評価を指向することは品質評価の観点からも責務であると考えられる。本例会では核酸分析における分離面と MS の定量性に焦点を当てて事例を踏まえて討議する予定である。

期日 2023 年 1 月 27 日 (金) 13:00~17:00

会場 Zoom オンライン会場

講演主題 核酸医薬品の分離分析の現状と課題及び将来像

講演

講演主題概説 (オーガナイザー) (13:00~13:05)

(エーザイ(株)) 柿田 穰

(LC 分析士二段, LC/MS 初段)

1. 「核酸医薬品分析の課題と将来像」(13:05~13:35)

(エーザイ(株)) 柿田 穰

(LC 分析士二段, LC/MS 分析士初段)

2. 「LC-ToFMS を用いたオリゴ核酸医薬品の分析」

(13:35~14:15)

(日本ウォーターズ(株)) 島崎裕紀

(LC 分析士三段, LC/MS 分析士二段)

3. 「オリゴヌクレオチドの分離モードと最適化に向けた検討事例」(14:15~14:45)

(東ソー(株)) 伊藤誠司

(LC 分析士五段, LC/MS 分析士二段)

休憩 (14:45~15:00)

4. 「オリゴ核酸分析への 2D-LC/MS の適用: その原理と事例紹介」(15:00~15:40)

(アジレント・テクノロジー(株)) 林 明生

(LC 分析士初段, LC/MS 分析士二段)

5. 「MS の特徴を生かした核酸分析の事例紹介」

(15:40~16:20)

(㈱東レリサーチセンター) 櫻井 周

(LC 分析士初段, LC/MS 分析士二段)

6. 総括「核酸医薬品の分離分析の現状と課題, 将来像」(16:20~17:00)

(東京理科大学) 中村 洋

(LC 分析士五段, LC/MS 分析士五段)

参加費 LC 研究懇談会・個人会員: 1,000 円, 後援学会・会員: 3,000 円, その他: 4,000 円, 学生: 1,000 円。参加申込締切日後の受付はできませんので, ご了承ください。

情報交換会 終了後, 講師を囲んで情報交換会を開催します(会費 1,000 円)。参加申込締切後のご参加はできませんので, ご了承ください。

申込締切日 1 月 20 日 (金) (入金締切時刻: 15 時まで)

申込方法

- 参加希望者は, 下記申込先にアクセスし, 氏名, 勤務先(電話番号), LC 会員・協賛学会会員・その他の別及び情報交換会参加の有無を明記の上, お申込みください。
- お申込みが完了した場合には, 登録されたアドレス宛に「第 379 回液体クロマトグラフィー研究懇談会申込み受付(自動返信)」のメールが届きます。メールが届かない場合は, 世話人までお問い合わせください。
- 申込み受付のメールを受領後, 必ず期限内に参加費の納

入を行ってください。期限内に参加費納入が確認できない場合, 参加申込みを無効とし参加 URL を発行しませんので, 十分ご注意ください。なお, 一旦納入された参加費は, 返金いたしません。

- 参加費の納入が確認できた方には, 2023 年 1 月 21 日以降に①例会サイト入場 URL と②「視聴者用操作マニュアル」をお送りします。また, 情報交換会参加費納入者には, ③情報交換会サイト入場 URL をお知らせいたします。なお, 請求書と領収書の発行はいたしていません。領収書は, 振込時に金融機関が発行する振込票等をもって替えさせていただきます。

液体クロマトグラフィー研究懇談会(例会)参加費送金時のご注意 例会参加費, 情報交換会参加費を送金される場合, 下記を禁止しておりますので, ご理解のほどよろしくお願いたします。

- 複数例会の参加費の同時振込 (→例会ごとに振り込んでください)
- 複数参加者の参加費の同時振込 (→参加者ごとに振り込んでください)
- 年会費や他の費用との合算振込 (→費目ごとに振り込んでください)

申込先 <https://forms.gle/KQJnkb3bvSD8rSHr5>

銀行送金先 りそな銀行五反田支店(普通)1754341 口座名義: シヤ)ニホンブンセキカガクカイ [公益社団法人日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会]

問合せ先 (公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会 世話人 エーザイ(株) 柿田 穰

[E-mail: m-kakita@hhc.eisai.co.jp]

2023 年「マイスター」認定候補者推薦募集

液体クロマトグラフィー (LC) 研究懇談会は, (公社)日本分析化学会・分析士認証制度による LC 分析士五段並びに LC/MS 分析士五段取得者を対象に, それぞれ「LC マイスター」, 「LC/MS マイスター」へのステップアップ候補者の推薦を募集します。マイスターには専門分野の指導者として, 分析士認証制度のさらなる発展へのお力添えをお願いするのが目的です。下記規定(抜粋)をご覧ください。適任者がおられましたら, 提出資料を提出先にお送りください(推薦者の資格: LC 研究懇談会個人会員)。

第 2 条 「マイスター」とは, 日本における液体クロマトグラフィー (LC) 若しくは LC/MS に関する高度なスキルと知識を有する分析士で, 分析士としての社会的貢献が顕著な者を指す。

第 3 条 「マイスター」認定候補は, LC 懇の個人会員であることを要する。

2 「マイスター」認定候補は, LC 分析士五段または LC/MS 分析士五段の資格を 5 年以上保持している者とする。

3 「マイスター」認定候補は, 分析士五段としての社会的貢献が顕著な者とする。

提出資料 推薦者は, A4 判サイズに横書きで記入した以下の 4 項目を 1 ファイルにまとめ, 2 月 18 日までに下記提出先に電子メールで送付する。①候補者の氏名・生年月日・現住所・連絡先(電話/メール)・LC 研究懇談会個人会員番号, ② LC 分析士五段あるいは LC/MS 分析士五段の認証番号・取得年, ③推薦理由書(推薦者の氏名・LC 研究懇談会個人登録番号・所属・連絡先メールアドレス, 推薦文), ④社会的貢献業績名及びその概要。

推薦資料提出先 「マイスター」推薦応募係
[E-mail : nakamura@jsac.or.jp]

——以下の各件は本会が共催・協賛・
後援等をする行事です——

◎詳細は主催者のホームページ等でご確認ください。

金属学会シンポジウム [タングステン材料科学]

主催 (公社)日本金属学会
期日 2022年12月8日(木)・9日(金)
会場 仙台国際センター
ホームページ
https://jim.or.jp/EVENTS/symposium/symposium_001.html
連絡先 〒980-8544 宮城県仙台市青葉区一番町1-14-32
フライハイトビル2階 (公社)日本金属学会 シンポジウム
参加係 [電話 : 022-223-3685, FAX : 022-223-6312,
E-mail : meeting@jim.or.jp]

第13回社会人のための表面科学ベーシック講座

主催 (公社)日本表面真空学会
期日 2022年12月5日(月)視聴開始, 2023年1月7日(土)
まで視聴可
会場 オンライン開催
ホームページ <http://www.jvss.jp/>
連絡先 〒113-0033 東京都文京区本郷5-25-16 石川ビル
5階 (公社)日本表面真空学会 事務局 [電話 : 03-3812-
0266, FAX : 03-3812-2897, E-mail : office@jvss.jp]

第31回放射線利用総合シンポジウム

主催 (一社)大阪ニュークリアサイエンス協会
期日 2023年1月16日(月)
会場 ONSA Office 会議室
ホームページ <http://onsa.gdgdg.jp/>
連絡先 〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場3-3-27 サ
ンエイビル4F (一社)大阪ニュークリアサイエンス協会
[電話 : 06-6282-3350, FAX : 06-6282-3351, E-mail :
onsa-ofc@nifty.com]

表面科学技術研究会 2023
表面のぬれ制御技術の最先端
—表面修飾・バイオミメティクス・センシング技術—

主催 (一社)表面技術協会関西支部, (公社)日本表面真空学
会関西支部
期日 2023年1月24日(火)
会場 (地独)大阪産業技術研究所森之宮センター大講堂
ホームページ <http://www.sssj.org/Kansai/>
連絡先 金沢大学理工学研究域 数物科学科 荒木優希
[電話 : 076-264-5735, E-mail : y-araki@staff.kanazawa-u.
ac.jp]

22-2 高分子学会講演会

主題 = 高分子の表面・界面を制御する

主催 (公社)高分子学会行事委員会
 期日 2023年2月7日(火)
 会場 オンライン開催
 ホームページ <https://member.spsj.or.jp/event/>
 連絡先 〒104-0042 東京都中央区入船3-10-9 新富町ビル
 (公社)高分子学会 22-2 高分子学会講演会係 [電話: 03-5540-3771, FAX: 03-5540-3737]

第39回希土類討論会

主催 日本希土類学会
 期日 2023年5月30日(火)・31日(水)
 会場 札幌コンベンションセンター
 ホームページ <http://www.kidorui.org/>
 連絡先 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-1 大阪大学大学院工学研究科 応用化学専攻内 日本希土類学会事務局
 [電話: 06-6879-7352, FAX: 06-6879-7354, E-mail: kidorui@chem.eng.osaka-u.ac.jp]

「分析化学」年間特集「流」の論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」では2010年より「年間特集」を企画し2023年は「流」をテーマとすることと致しました。

本特集では「流」をキーワードとして分析化学における基礎・応用を含めて幅広い観点で見渡し、分析化学が担う役割を社会に向けて発信することを目的としています。本特集に関わる論文はすべての論文種目で年間を通じてご投稿いただくことが可能で、審査を通過した論文は単行の特集号を除く「分析化学」第72巻(2023年)合併号の冒頭に掲載する予定です。国内外、産学官を問わず、「流」に関わる分析化学の研究・開発に従事されている多くの皆様方からの投稿をお待ちしておりますので、是非この機会をご活用ください。なお、詳細は「分析化学」誌の12号及びホームページをご参照ください。

特集論文の対象:「流」に関連した分析化学的な基礎・応用研究に関する論文。例を以下に示します。1) 液体や気体などの流れを利用した分析装置や分析手法の開発・応用、2) 連続的に流れている河川や大気などの分析に関する研究、3) 製造ラインなどの流れの中で利用する分析法の開発・応用、4) 電子の流れを計測する電気分析化学的研究、5) 原子・分子の流れを扱うシミュレーションを活用した分析化学的研究。

特集論文原稿締切: 2023年4月28日(金) (第3期)

初めて書く論文は母語の日本語で!
 “第22回若手研究者の初論文特集”
 募集のお知らせ

「分析化学」編集委員会

「分析化学」編集委員会では、2023年(第72巻)に第22回「若手研究者の初論文特集」を企画します。卒研究生、修士・博士課程院生並びに若手研究者の方々にとって、ご自分の研究成果を日本語で投稿できるよい機会です。なお、2019年より本

特集を年間特集とし、都合の良いときに執筆して投稿できるようにしました。年間を通して論文原稿を受け付け、審査を経て掲載可になり次第随時掲載いたしますので、奮ってご投稿ください。

なお、詳細は「分析化学」誌HPをご参照ください。

ぶんせき誌「技術紹介」の原稿募集

『ぶんせき』編集委員会

分析化学は種々の分野における基盤技術であり、科学や産業の発達・発展だけでなく、安全で豊かな生活の実現に分析機器が大きく貢献してきました。近年の分析機器の高性能化・高度化は目覚ましく、知識や経験がなくても、微量物質の量や特性を測定できるようになりました。この急速な発展は、各企業が持つ高度で多彩な技術やノウハウによって達成されたといっても過言ではありません。一方、高度化された分析機器の性能・機能を十分に発揮させるためには、既存の手法に代わる新規な分析手法が必要であり、高度な分析機器に適合した分析手法や前処理手法の開発が分析者にとって新たな課題となつていきます。また、分析目的に合致した高純度試薬の開発に加えて、測定環境の整備、試薬や水の取り扱いなどにも十分な配慮が必要です。極微量の試料を分析する際には、測定原理を把握すると共に、手法や操作に関する知識・技能を身に付ける必要があると考えます。

このような背景に鑑み、『ぶんせき』誌では新たな記事として「技術紹介」を企画いたしました。分析機器の特徴や性能、機器開発に関わる技術、そしてその応用例などを紹介・周知することが分析機器の適正な活用、さらなる普及に繋がると考えており、これらに関する企業技術を論じた記事を掲載することといたしました。また、分析機器や分析手法の利用・応用における注意事項、前処理や操作上のコツなども盛り込んだ紹介記事を歓迎いたします。これらの記事を技術紹介集として、『ぶんせき』誌ホームページ内に蓄積することで、様々な分野における研究者や技術者に有用な情報を発信でき、分析化学の発展に貢献できるものと期待しております。分析機器や分析手法の開発・応用に従事されている多くの皆様方からのご投稿をお待ちしております。

記

1. 記事の題目:「技術紹介」
2. 対象: 以下のような分析機器、分析手法に関する紹介・解説記事
 - 1) 分析機器の特徴や性能および機器開発に関わる技術、
 - 2) 分析手法の特徴および手法開発に関わる技術、
 - 3) 分析機器および分析手法の応用例、
 - 4) 分析に必要な試薬や水および雰囲気などに関する情報・解説、
 - 5) 前処理や試料の取扱い等に関する情報・解説・注意事項、
 - 6) その他、分析機器の性能を十分に引き出すために有用な情報など
3. 新規性: 本記事の内容に関しては、新規性は一切問いません。新規の装置や技術である必要はなく、既存の装置や技術に関わるもので構いません。また、社会的要求が高いテーマや関連技術については、データや知見の追加などにより繰り返し紹介していただいても構いません。
4. お問い合わせ先: 日本分析化学会『ぶんせき』編集委員会 [E-mail: bunseki@jsac.or.jp]

第 83 回分析化学討論会

— 講演 募集 —

標記討論会を以下の日程で開催いたします。講演申込及び講演要旨の提出にはアトラス社、Confit によるオンライン登録システムを使用します。郵送、FAX 及び電子メールでの受付は一切行いません。本討論会では、主題講演（口頭発表）、一般講演（口頭発表、ポスター発表）、若手講演（ポスター発表）、テクノレビュー講演（口頭発表、ポスター発表）、産業界 R&D 紹介講演（ポスター発表）を設けましたので、以下の各事項をご参照のうえ、講演申込登録締切までにオンライン登録システムによりお申し込みください。講演要旨は 1 講演 A4 判 1 頁となります。なお、現在実行委員会では対面での開催を原則として計画を進めておりますが、開催形式等については新型コロナウイルス感染症の状況により、急遽変更となる場合も想定されます。最新の情報や講演申込等の詳細については第 83 回分析化学討論会ホームページ（以下、討論会 HP と略）を必ずご確認ください。

【第 83 回分析化学討論会公式 Web サイト URL（講演申込）】

討論会 HP：<https://confit.atlas.jp/guide/event/jsac83touron/top>

【第 83 回分析化学討論会 講演申込・講演要旨提出スケジュール】

・講演申込登録開始日時：2022 年 12 月 14 日（水）

ご注意ください：講演申込は会員登録がお済みの方に限られます。
非会員の方は必ず個人会員登録をお済ませの上お申し込みください。

・講演申込登録締切日時：2023 年 1 月 25 日（水）（厳守）

・要旨提出締切日時：2023 年 3 月 8 日（水）（厳守）

主催（公社）日本分析化学会

後援 国立大学法人富山大学

会期 2023 年 5 月 20 日（土）・21 日（日）

日程

5 月 20 日：主題講演（口頭）、一般講演（口頭、ポスター）、若手講演（ポスター）、テクノレビュー講演（口頭、ポスター）、産業界 R&D 紹介講演（ポスター）、依頼講演、ランチョンセミナー、機器展示会、懇親会

5 月 21 日：主題講演（口頭）、一般講演（口頭、ポスター）、テクノレビュー講演（口頭、ポスター）、依頼講演、ランチョンセミナー、機器展示会

※日程は変更する場合があります。

会場 富山大学五福キャンパス

発表形式 01：主題講演（口頭発表）、02：一般講演（口頭発表）、03：一般講演（ポスター発表）、04：若手講演（ポスター発表）、05：テクノレビュー講演（口頭発表）、06：テクノレビュー講演（ポスター発表）、07：産業界 R&D 紹介講演（ポスター発表）

討論主題（主題講演）

第 83 回討論会では 5 件の討論主題を設定します。

1. 生命を観る・測るバイオ分析の最前線
オーガナイザー：小澤岳昌（東京大学）
2. “Next Gen” 化学センシング ～次世代化学センシングの方法論・デバイス開発の最前線～
オーガナイザー：久本秀明（大阪公立大学）
3. 流れ分析法の新展開と社会への貢献
オーガナイザー：鈴木保任（金沢工業大学）
4. より迅速で、より簡便な分析化学を目指して
オーガナイザー：菅原一晴（前橋工科大学）
5. 未来の「食」と「薬」を創る分析化学
オーガナイザー：椎木弘（大阪公立大学）、
富永昌人（佐賀大学）

※討論趣旨及び依頼講演は決定しましたら討論会 HP 上で公開します。

【講演分類一覧】 別記を参照ください。

【講演申込要項】

本討論会に講演申込を行うにあたり、下記の各事項をあらかじめご承諾のうえ、講演申込を行ってください。

1. 講演内容は、未発表のものに限ります。ただし、主題講演には、既発表のものが一部含まれていても差し支えありません。
2. 講演時間は、一般講演（討論主題での口頭発表を含む）は 15 分（講演 12 分、討論 3 分）、依頼講演及びテクノレビュー講演（口頭発表）は 30 分（講演 25 分、討論 5 分）、ポスター発表（一般講演、若手講演、テクノレビュー講演、産業界 R&D 紹介講演）は 60 分を予定。なお、口頭及びポスター発表の講演方法についての詳細は、討論会 HP に掲載予定です。若手講演（ポスター発表）、テクノレビュー講演（口頭・ポスター発表）及び産業界 R&D 紹介講演（ポスター発表）への応募の詳細は別記を参照ください。
3. すべての口頭発表会場にプロジェクター、アナログ RGB ケーブル、PC 切替器等を用意します。講演者は講演データの入ったノートパソコンを持参して講演発表を行ってください。
4. 講演者（登壇者）は、講演申込時点において日本分析化学会の個人会員（正会員、学生会員）であること（産業界ポスターは維持会員も可）、会員は 2023 年会費が納入済みであることが必要です。講演を希望する方は、学会ホームページ（以下、学会 HP と略）から入会手続きを済ませたうえで、講演申込をお願いします。なお、講演者（登壇者）は別途本討論会への参加申込登録をしないと講演発表ができません。
5. 同一演題で発表形式を変えて（口頭とポスター発表など）重複講演することはできません。

6. 関連ある複数の講演（口頭発表に限る）を連続して発表したい場合は、講演申込締切日までに発表順序を実行委員会に申し出てください。ただし、発表形式と講演分類（主題講演の場合は討論主題分類）が一致している場合に限りです。講演日及び講演時間の指定はご容赦ください。なお、希望にそえない場合もありますので、最終決定は実行委員会に一任ください。
7. 会場の都合等で、発表形式を変更する場合は、事前に実行委員会より連絡します。
8. 維持会員として講演申込をされる方は、討論会 HP をご確認ください。

講演申込方法 Web 申込に限ります。討論会 HP および「要旨作成テンプレート」をご覧のうえ、講演申込登録、要旨作成及び提出をお願いいたします。郵送、FAX 及び電子メールでの申込はできません（講演申込登録締切日厳守のこと）。申込者のコンピュータ環境（ネットワーク環境を含む）が原因で講演申込の登録に不備をきたしても、実行委員会、学会事務局は一切責任を負いかねます。講演申込に関する緊急情報や変更点などのお知らせ、講演申込システム等の障害情報は速報性を考慮してすべて討論会 HP（または学会 HP）に掲載しますので、適宜ご覧ください。本誌発行後に登録システムを予告なく変更する場合があります。最新情報等の詳細は討論会 HP を参照ください。

【若手講演（ポスター）募集】

主催 第 83 回分析化学討論会実行委員会、共催 全国若手交流会

期日 5 月 20 日（土）

会場 富山大学五福キャンパス

趣旨 分析化学の時代を担う大学院生や若手研究者・技術者による研究成果の発表と相互のさらなる発展を目的として若手講演（ポスター）を企画しました。分析化学は自然科学の基盤を支える重要な学問・研究分野として、また産業の技術革新を押し進める原動力として重要な役割を果たしています。本企画が、大学院生や若手研究者・技術者の研究成果のアピールや情報交換・交流によって分析化学の一層の活性化を促す機会となることを期待しています。このポスターセッションではポスター賞を選出いたします。奮ってご応募ください。

発表形式 ポスター発表会場における 60 分のポスター発表形式。講演要旨は要旨集に掲載します。

講演申込方法 一般講演等に準じてオンライン（Web）上からお申し込みください。「発表形式」の欄で、“04：若手講演（ポスター）”を選択してください。講演申込・講演要旨提出はすべて本討論会の諸規則に準じます。講演申込締切後の発表形式の変更はできません。

講演申込登録締切 一般講演等と同じ。

募集対象 本会学生・個人会員（概ね 30 歳まで）

※非会員は発表できません。

【テクノレビュー講演募集】

主催 第 83 回分析化学討論会実行委員会

期日 5 月 20 日（土）・21 日（日）

会場 富山大学五福キャンパス

発表形式 口頭発表かポスター発表を選択できます。口頭発表は一般講演口頭発表会場で、ポスター発表は一般講演ポスター会場で開催します。口頭発表は 30 分（講演 25 分、討論 5 分）、ポスター発表は 60 分の予定です。講演要旨は要旨集に掲載します。

講演料 口頭発表、ポスター発表いずれも 1 件 50,000 円。講演料には発表者の参加登録料 1 名分が含まれます。

講演申込方法 一般講演等に準じて Web 上からお申し込みください。「発表形式」の欄で、“05：テクノレビュー講演（口

頭）”または“06：テクノレビュー講演（ポスター）”を選択してください。講演申込・講演要旨提出はすべて本討論会の諸規則に準じます。

講演申込登録締切 一般講演等と同じ。

【産業界 R&D 紹介講演（ポスター）募集】

主催（公社）日本分析化学会「産業界における研究開発と分析ソリューション」シンポジウム企画運営委員会

趣旨 産業界の分析部門間及び産学官の交流・情報収集・研究議論・技術発信/アピール・若手育成と、学生に向けた企業活動説明を目的とします。

期日 5 月 20 日（土）・21 日（日）

会場 富山大学五福キャンパス

発表形式 ポスター発表会場における 60 分のポスター発表形式。講演要旨は要旨集に掲載します。

募集対象 産業界で活躍されている研究者、技術者（本会維持会員または正会員に限ります）。ただし、維持会員企業の方のご発表は 1 件に限ることとします。

講演申込方法 一般講演等に準じて Web 上からお申し込みください。「発表形式」の欄で、“07：産業界ポスター”を選択してください。講演申込・講演要旨提出はすべて本討論会の諸規則に準じます。維持会員として講演申込をされる方は、討論会 HP をご確認ください。

講演申込登録締切 一般講演等と同じ。

【展示会等出展のお願い】

機器・カタログ出展および
ランチョンセミナー・バナー広告

主催 第 83 回分析化学討論会実行委員会

分析・計測機器関連のメーカー・販売会社、分析技術提供会社との相互交流・情報交換の場として、展示会を開催いたします。また、期間中の昼休みを利用して企業セミナー（ランチョンセミナー）を開催いたします。

【機器・カタログ展示会】

展示日時 5 月 20 日（土）・21 日（日）（ただし、21 日は 14 時までの予定）

会場 富山大学五福キャンパス（ポスター会場）

展示費用 1 小間：80,000 円（税別）

募集締切日 3 月 30 日（木）

【ランチョンセミナー】

日時 5 月 20 日（土）・21 日（日）12.10～13.00

会場 富山大学五福キャンパス（口頭会場）

開催費用 150,000 円（税別）

※セミナー運営に関する費用（昼食用弁当など）は別途

募集締切日 3 月 30 日（木）

【バナー広告】

公開場所 第 83 回分析化学討論会 HP

掲載期間 2023 年 1 月～5 月

掲載料金 1 枠：1 月～5 月 50,000 円、

3 月～5 月 30,000 円（いずれも税別）

問合先・申込先 〒104-0061 東京都中央区銀座 7-12-4（友野本社ビル）(株)明報社（担当：後藤）〔電話：03-3546-1337, FAX：03-3546-6306, E-mail：info@meihosha.co.jp〕
※展示会及びランチョンセミナーの内容は変更になる場合がございます。詳細は(株)明報社にお問い合わせください。

【宿泊等についてのご注意】

実行委員会では宿泊先等にかかる斡旋は行いません。なお、皆さまの宿泊先についてのアンケートを実施予定ですので、参加受付時には是非ご協力の程、お願いいたします。

【託児所開設について】

第83回分析化学討論会では、託児所を開設の予定です。詳細は討論会HPをご参照ください。

【Web版講演要旨集の発行日について】

第83回分析化学討論会Web版講演要旨集の発行日は、2023年5月8日です。特許出願の際は、下記の特許庁ホームページを参照ください。

<https://www.jpo.go.jp/index.html>

本要旨集に掲載されたものについての著作権は、(公社)日本分析化学会に帰属します。

【その他事項】

講演プログラム速報版は討論会HPに3月下旬までに掲載予定です。

【その他の会合】

【ものづくり技術交流会2023 in 中部】

主催 分析イノベーション交流会実行委員会

日時 5月20日(土)

会場 富山大学五福キャンパス

これまで分析化学とは縁のなかったような分野の企業との新たなつながりをつくる機会として、ものづくりの企業によるショートプレゼンテーションや展示を、事例レクチャーとともに企画しております。奮ってご参加ください。

【講演分類一覧】

- 01: 原子スペクトル分析 (ICP-MSを含む)
- 02: 分子スペクトル分析 (吸光分析法, 蛍光・リン光分析法, 赤外・ラマン分析法, 表面プラズモン共鳴など)
- 03: レーザー分光分析 (顕微分光, レーザー励起発光, 光熱変換分光, 非線形分光など)
- 04: X線分析・電子分光分析・量子ビーム分析
- 05: 放射線計測による分析
- 06: NMR (ESRなどを含む)
- 07: 電気化学分析
- 08: センサー, センシングシステム
- 09: 熱分析
- 10: 有機微量分析 (元素分析を含む)
- 11: 質量分析 (イオン化法を含む)
- 12: マイクロ分析系 (マイクロチップ, マイクロ分離システム, 一分子検出系など)
- 13: フローインジェクション分析
- 14: 液体クロマトグラフィー (LC/MSを含む)
- 15: ガスクロマトグラフィー (GC/MSを含む)
- 16: 電気泳動分析 (キャピラリー電気泳動など)
- 17: 溶媒抽出法, 固相抽出法, イオン交換系
- 18: 分離・分析試薬の設計
- 19: 分析化学反応基礎論 (平衡論, 速度論など)
- 20: データ処理理論 (AI, ケモメトリックスなど)
- 21: 標準物質
- 22: サンプルング, 前処理
- 23: 界面分析 (液液系, 固液系, 気液系, 気固系, 液滴など)
- 24: 微粒子分析および微粒子利用分析 (ナノ粒子など)
- 25: 宇宙・地球に関する分析化学 (天体, 大気, 河川・湖水・海洋, 土壌など)
- 26: 環境関連分析 (環境汚染物質, 環境放射能, 粉じん, SPM, 生体影響物質など)
- 27: 無機・金属材料分析
- 28: 電池・エネルギー材料 (電池材料, 燃料電池材料, バイオマスなど)
- 29: 有機・高分子材料分析 (有機・無機複合体材料を含む)

- 30: 食品・農作物・ヘルスケア等分析 (野菜, 畜産, 食品添加物など, 遺伝子組換, 農薬, 化粧品, サプリメントを含む)
- 31: バイオ分析 (プロテオーム解析, メタボローム解析, 再生医療にかかわる分析 (細胞, 培地, 足場材, 医療用材料)を含む)
- 32: バイオイメーjing
- 33: 医薬分析 (不純物, ドーピング, 代謝物 (ADME), バイオ医薬など)
- 34: 臨床分析 (法科学分析, POCT, 医療用センサー, in vivo計測, バイオマーカーを含む)
- 35: 企業における分析解析活用と課題解決への適用
- 36: その他

【各種お問い合わせ先】

主題講演及び会場などに関するご質問は実行委員会までお問い合わせください。

第83回分析化学討論会実行委員会事務局

E-mail: 83touron@jsac.jp

【重要】講演要旨について

1講演あたりの講演要旨のサイズはA4判1頁とし、PDFファイルによる提出となります。概略は以下の通りです。詳細は討論会HPを参照ください。

- ・1講演あたりの講演要旨のサイズはA4判1頁。(図表, 画像等を含みます。)
- ・カラー図表, 画像も可。

記載内容, 形式等については討論会HP内に要旨作成テンプレートを置く予定です。そちらをご参照ください。

【第83回分析化学討論会 参加登録料について】

本討論会に参加予定の方は、登壇者を含めて全員参加登録をお願いいたします。登壇者(依頼講演者の一部を除く)は討論会への参加申込登録を行わないと講演発表ができませんので、必ず参加登録をしてください。参加予約登録(オンライン登録)の申込方法の概要は「ぶんせき」誌2月号及び討論会HPに掲載いたします。参加予約登録料等は以下の通りです。

参加登録料

予約: 会員 9,000円, 学生会員 4,000円, 非会員 18,000円, 非会員学生 8,500円

通常: 会員 12,000円, 学生会員 5,000円, 非会員 21,000円, 非会員学生 9,500円

高校生およびその指導者は無料です。

※会員, 学生会員の予約・通常登録料は不課税扱いです。非会員, 非会員学生の参加登録料は予約, 当日ともに税込金額です。

【参加登録料の領収書の発行について】

参加登録のサイトからダウンロードできます。